

推薦調書（アイデア部門）

推薦都道府県

茨城県

地方公共団体名	日立市		
アイデア名称	デジタル化による安全・安心で持続可能なまちづくり		
連携自治体、企業、団体等	日立市コミュニティ推進協議会、各学区コミュニティ推進会		
デジタルを活用したアイデアの概要（デジタルを活用したアイデアの全体概要と解決する個別課題の具体的な内容）	(種類)	②	(左記が①の場合の分野)
	<p>【デジタルを活用したアイデアの全体概要】</p> <p>○ 本市の地域コミュニティ活動の拠点施設である交流センターにデジタル端末を整備し、交流センターのデジタル化によるコミュニティ活動の情報発信強化に加え、地域住民にデジタル端末を貸し出し、自治会レベルでのデジタル化を進め、新しい生活様式に対応したコミュニティ活動を活性化する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 電子回覧板の活用、オンライン・ペーパーレス会議の開催により若者や子育て世代が参加しやすい開かれた活動を行う。 ・ デジタル端末の貸出しを積極的に行うことにより、デジタルデバイドの解消、コロナ禍でのコミュニティ活動の継続・活性化を目指す。 ・ 地域自主防災組織においてデジタル端末を活用することにより、災害時の地区毎の状況に応じた適時・適切な情報提供を目指す。 ・ 全ての住民を対象とした地域ICTプラットフォーム（地域アプリ）導入を目指す。 <p>【実施に至る経緯・動機】</p> <p>○ 本市のコミュニティ活動は、交流センターを拠点とした自主組織である「コミュニティ推進会」が、地域の課題解決、地域住民の連帯意識の醸成などを目的に、自主防災、環境美化など、様々な活動を行っているが、近年は、コミュニティ活動への参加率の低下が問題となっている。</p> <p>その主な理由となっている住民への情報発信の不足を解消しコミュニティ活動への参加を促す必要がある。</p> <p>【解決する課題の具体的な内容】</p> <p>○ 紙媒体の回覧板や電話等の従来の連絡手段等による情報伝達の非効率さと、それによるコミュニティ活動参加者の減少や災害時の対応の遅れ等。</p>		

<p>デジタルの活用により目指す成果（数値）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ コミュニティ活動の情報発信登録者数 令和6年度末 6,900人 ・ ICTを活用したイベント情報等の発信回数 令和6年度末 750回 ・ 防災研修会、オンライン会議等の開催回数 令和6年度末 92回 ・ 避難訓練の参加人数 令和6年度末 9,000人
<p>本アイデアの特徴的な点やデジタルの活用において工夫した点</p>	<p>この取組は、本市の地域に根差した施設である交流センターを活用することで、地域のデジタル化の推進だけでなく、コミュニティ活動の活性化にも資することが可能となっている。</p> <p>また、デジタルデバイド対策を併せて行うことにより、より効果的に取組を進めることが期待できる。</p>
<p>今後の展望</p>	<p>ICTを活用し効率的に情報発信をすることで、住民がより多くの地域情報や、地域コミュニティ活動の情報を入手することができる。</p> <p>また、災害時に地域に即した情報を住民に速やかに提供し、安心・安全な地域を構築する。</p> <p>さらに、オンラインによる会議や研修、イベントなどの情報発信を行うことで、若者や子育て世代のコミュニティ活動への参加を促し、活動の担い手の裾野を広げていく。</p>

デジタル化による安全・安心で持続可能なまちづくり

デジタル機器による地域の防災力強化と交流の活性化

災害時

- ・統一された端末・アプリケーションを使用することにより、迅速かつ広範囲に災害情報を発信
- ・地域の状況に応じた、きめ細かな情報を発信
- ・要支援者の安否確認



- ・火災、防犯情報の発信にも活用



安心・安全な地域社会の実現

通常時

- ・地域コミュニティのイベント情報発信



- ・オンライン会議の開催



- ・自治会活動のDX



若者や子育て世代が参加しやすい体制の構築による活動の担い手確保

